

## ○ 委員長報告

12月定例会本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

令和6年12月定例会

### 経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、外国人労働者の受入環境の整備についてであります。

このことについて一部の委員から、育成就労制度への移行を見据え、外国人労働者の受入環境の整備に、今後、どう取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県内企業による外国人材の受入を進めるためには、国における法的枠組みの整備はもとより、県としても、送出国との関係構築や受入企業の体制整備に加え、多文化共生を一層推進し、外国人に選ばれる地域となるための取組みが不可欠と考えている。

このため、県ものづくり産業・サービス産業振興指針に基づき、今年度内を目途に外国人材の受入促進に向けた戦略を策定し、今後、就労・生活環境の整備など企業の受入体制の向上や、家族を含めた日本語教育の強化、防災意識の醸成、地域住民との交流の促進等に取り組み、本県が働く場として外国人に選ばれるよう努めたい旨の答弁がありました。

第2点は、事業承継の取組状況についてであります。

このことについて一部の委員から、9月補正予算で計上した事業承継関係予算の取組状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、予算成立後直ちに、えひめ産業振興財団と委託契約を締結し、県事業承継・引継ぎ支援センターや県商工会連合会等関係機関へ協力要請を行うとともに、地域別説明会を開催するなど、円滑な推進体制の整備に努めてきた。

また、今月2日から、本県専用の事業承継マッチングサイト「relay the local (リレイザローカル) 愛媛県」を民間プラットフォーム上に開設するとともに、「愛媛県未来につながる店」投稿キャンペーンを開始したところであり、今後、投稿された企業に対して個別にヒアリングし、オープンネームによる後継者探しに興味を持つ企業を掘り起こしていきたい。加えて、事業承継を契機とした経営革新の成功事例創出に向け、意欲ある若手後継者を募集している旨の

答弁がありました。

第3点は、県立病院におけるマイナ保険証の利用状況についてであります。

このことについて一部の委員から、県立病院におけるマイナ保険証のこれまでの利用状況やトラブルの発生状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県立病院では令和3年10月の運用開始以来マイナ保険証の利用件数が年々増加しており、令和3年度は4病院全体で154件であったが、今年度11月末時点では15,421件となっている。

今月2日の本格移行後、各病院では、マイナンバーと保険証の紐づけが適切にできているのか、紙の保険証を使用できるのかといった問い合わせが寄せられているものの、紐づけ誤りや、保険資格の無効表示などの事例はこれまで確認されていないほか、窓口での対応は概ねスムーズに行われており、今後とも利用者の利便性に配慮しながら適切に対応して参りたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ 県内中小企業の生産性向上への取組み
- ・ 県内中小企業の倒産状況
- ・ 大規模災害に備えた発電工水施設の耐震化
- ・ 県立病院の在り方
- ・ エネルギー価格高騰対策

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。